

みょうが館

イベント

12月24日(月)～12月31日(月)の間『年末大売り出し』を開催!!

1年の締めくくりとして、日頃から利用して頂いている皆様へ感謝を込めて、「年末大売り出し」を行います!安全・安心な直売品のほか、年末年始の食材や加工品などもありますので、ぜひお越しください!!



▲1年の感謝を込めて開催致します

おすすめ商品

リース.....500円~/1個
赤カブ.....150円/1袋
切り餅.....250円/1パック
そば.....100円/1玉



リース



赤カブ

☆店舗紹介

J Aあきた白神管内の農家による、自家生産物等の直売施設です。真心をこめて作った新鮮で安心・安全な農産物をお届けします。

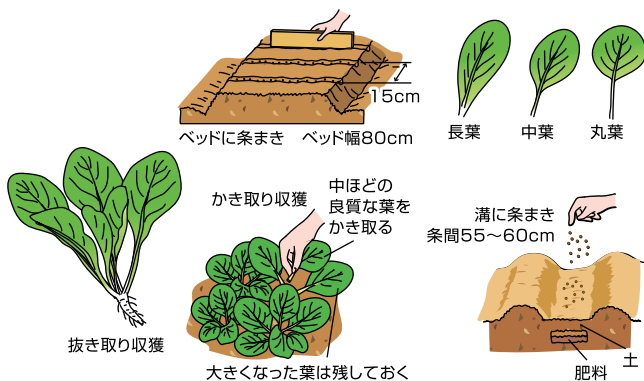
お問い合わせ先：0185-58-3005

家庭菜園



育てやすい冬の青菜の主役 小松菜

畑はあらかじめ石灰をまいてよく耕しておき、種まき前に完熟堆肥、油かす、化成肥料を元肥として全面散布し、20cm程度の深さによく耕し込んでおきます。種まきは通常、60cm間隔にくわ幅のまき溝を作って条まきにしますが、狭い畑を有効に利用するためには、



●栽培のポイント
季節ごとの生育日数(夏まき25~30日、春・秋まき40~45日、冬まき80~90日)をよくわきまえて、1回の作付けをあまり多くせず、計画的に、回数を多くまくようにしましょう。

幅80cmのベッドを設けて、横方向に15cm間隔のまき溝を付け、条まきにします。いずれの場合も5~6cmの厚さに覆土し、その上から溝まきの場合にはくわの背で、ベッドまきの場合には手のひらで、軽く押さえて填圧(てんあつ)しておきます。発芽そろいしたら、育つにつれて3回ほど間引きし、最終株間を7~8cmになるようにします。間引きの都度、溝の側方に化成肥料を追肥し、軽く中耕しながら土に混ぜ込みます。時期によってはコナガナどアブラナ科好みの害虫の被害を受けやすいので、べた掛け資材の被覆や薬剤散布などで防除することが大切です。草丈が20cmになった頃から、必要に応じて逐次収穫し、取りたての新鮮な味を楽しみましょう。収穫は株ごと抜き取るのが常法ですが、私の庭先菜園では、葉をかき取り、若芽を伸ばしてそれをまたかき取る方法で、6月まきを晩秋まで100日以上収穫を楽しみました。大きい外葉を適宜残し、中ほどの良質な中形の葉を摘み取るのがコツです。